

会員無料 11月22日に国際税務部会を開催

テーマ：中堅・中小企業でも狙われやすい
「簡易な移転価格調査」「国外関連者に対する寄附金」

第2回部会の研修内容

海外取引の税務調査でターゲットとなりやすい企業は、海外に子会社等を設けて事業展開している企業です。それはグループ会社間では取引価格を操作して利益を海外子会社に移転したり、赤字の子会社を支援するために経済的利益を無償で供与するといった行為が行われやすいためです。そこで、今回は中堅・中小企業でも狙われやすい「簡易な移転価格調査」、「国外関連者に対する寄附金」を中心に、最近の課税の動向を踏まえながら、どのような取引が国税当局に狙われやすいのか、どのような点に注意すべきか等について解説します。

講師

勉強会開催日



主任研究・税理士 **多田 恭章**

国税庁国際業務課国際業務係長、東京国税局調査第一部特別国税調査官主査（移転価格調査）、東京国税局課税第二部法人課税課国際税務専門官、国税庁国際業務課情報交換2係主査。平成26年6月退職。平成26年9月税理士登録。社会保険労務士。

▼日程

・11月22日(水)

講師：多田主任研究員

テーマ：中堅・中小企業でも狙われやすい「簡易な移転価格調査」「国外関連者に対する寄附金」

・2018年1月16日(火)

講師：小寺主任研究員

テーマ：国際税務の申告書・別表の書き方

他部会講師



主任研究員・税理士 **小寺 壽成**

国税庁相互協議室課長補佐、東京国税不服審判所国税審判官、税務大学校教授、米沢税務署長、大和税務署長など歴任。現在、東京地方税理士会税法研究所研究員(法人税法担当)、一般社団法人租税調査研究会主任研究員(国際税務担当)、公益財団法人新聞通信調査会監事。平成23年8月税理士登録。

▼時間

全日程共通 16:00~18:00

▼会場

(株)レックスアドバイザーズ
(租税調査研究会事務局)10F
研修ルーム

▼参加費

租税調査研究会会員：無料
ビジター：1回1名15,000円
全4回：1名50,000円



主任研究員・税理士 **中山 正幸**

国際課税分野で、金融機関が行う先端的な取引の調査を行う。東京国税局調査第一部主任国際税務専門官、同部主任国際情報審理官、税務大学校専門教育部教授(国際担当)、東京国税局調査第一部外国法人調査第一部門統括国税調査官、島原税務署長。平成27年退官。同年8月税理士登録。

【ご興味のある方、詳細が気になる方は、お気軽に以下までご連絡ください】

TEL:03-3539-2929 FAX:03-5510-1132

※下記、記載がご面倒でしたらお名刺を貼り付けFAXいただけますと幸いです。

貴社名		(お役職) お問合せ者	
TEL		FAX	
住所			